

A Runner against Landmines
(地雷に反対するランナー)

P59

クリス・ムーンは、義足のランナーとして知られている。

彼は 1995 年にモザンビークで地雷の撤去をしている時に、右腕と右脚を失った。

1 年後、彼はロンドン・マラソンに参加した。

彼は一番早いランナーではなかった。

彼のペースは、ほとんどのランナーたちよりも遅かった。

【文章構造:比較級・最上級】

He was not the fastest runner; his pace was slower than most of the runners.

[the ...est]

「最も速いランナー」

[...er than ~]

「ほとんどのランナーたちよりも遅い」

形容詞・副詞 + er than ~ (または more [形容詞・副詞] than ~) ⇒ 「～より[形容詞・副詞]だ。」 比較級
the 形容詞・副詞 + est (または the most [形容詞・副詞]) ⇒ 「最も[形容詞・副詞]だ。」 最上級

しかし、彼は完走した。

それから、彼は 14 回以上もマラソンで走ってきた。

【文章構造:比較級・最上級】

He has run more than 14 marathons. 彼は、14 回以上マラソンを走った。

[more than + 数字] ⇒ 「～以上」

1998 年に、彼は長野冬季オリンピック大会の聖火ランナーとして走った。

「なぜあなたは右腕と右脚がないのに走るのですか？」ある男性が尋ねた。

「なぜなら、私にはまだ左腕と左脚があるからです。」

微笑を浮かべ、ムーン氏は答えた。

実際、義足で走ることによって、彼は私たちにあるメッセージを伝えている。

私たちは世界の地雷の問題について考えるべきである。